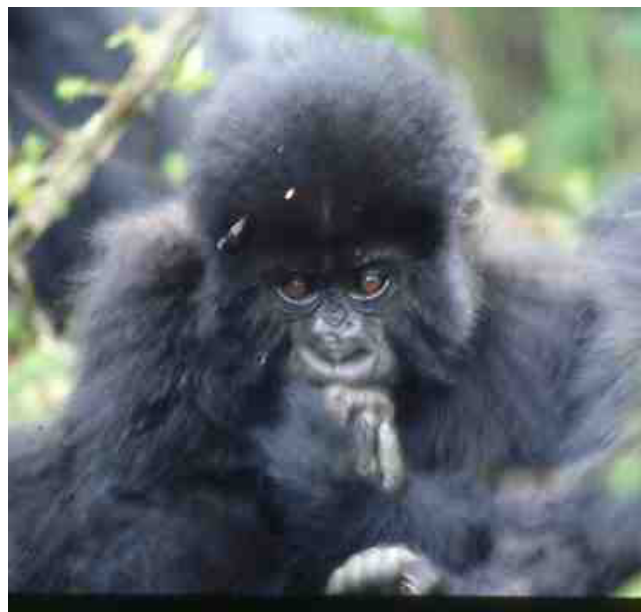


第8回クオリアAGORA

家族の由来に関する誤解

～ゴリラから学んだこと～



現代家族の諸問題

社会経済環境

核家族化
新興住宅、マンション化
単身赴任
男女共同参画
産休、育児休暇
年金問題
コンビニ
個食化
中高年自殺

グローバル化

少子高齢化

結婚と離婚

同性結婚
高齢結婚
独身と同棲
子なし婚
アラフォー問題
非婚
定年離婚
おひとりさま
介護

社会関係と教育

家庭教育と学校教育
イクメン、イクジイ
非行
いじめ
ひきこもり
DV

IT化

コミュニケーション

空気が読めない
話べた
親子の断絶
世代の断絶
地域共同体の崩壊

家族という形態は

現代の社会に合わなくなっているのだろうか？

そもそも家族は

何のために生れたのだろうか？

人間にしか家族はない

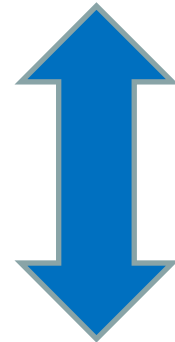
- ・ 鳥の家族とは違う
- ・ オオカミの家族とは違う
- ・ サルや類人猿に家族はない

人間の家族は生涯にわたって継続する

複数の家族が集まって共同体をつくる

家族の論理

見返りを求めずに奉仕する



動物はこの二つを
組み合わせることが
できない

集団の論理

お返しが期待できる助け合い

人類は狩猟者として進化した

- 直立二足歩行による手の解放
- 道具による狩猟の発達
- 協力行動の増加
- 狩猟と育児の分業
- 狩猟から戦いへ



家族の原型

「2001年宇宙の旅」

狩猟は人類進化の原動力ではなかった？

直立二足歩行

犬歯の縮小

石器の作成

脳の大型化

肉食 性的2型減少
出アフリカ

最古の槍

火の使用

言語の使用

農耕



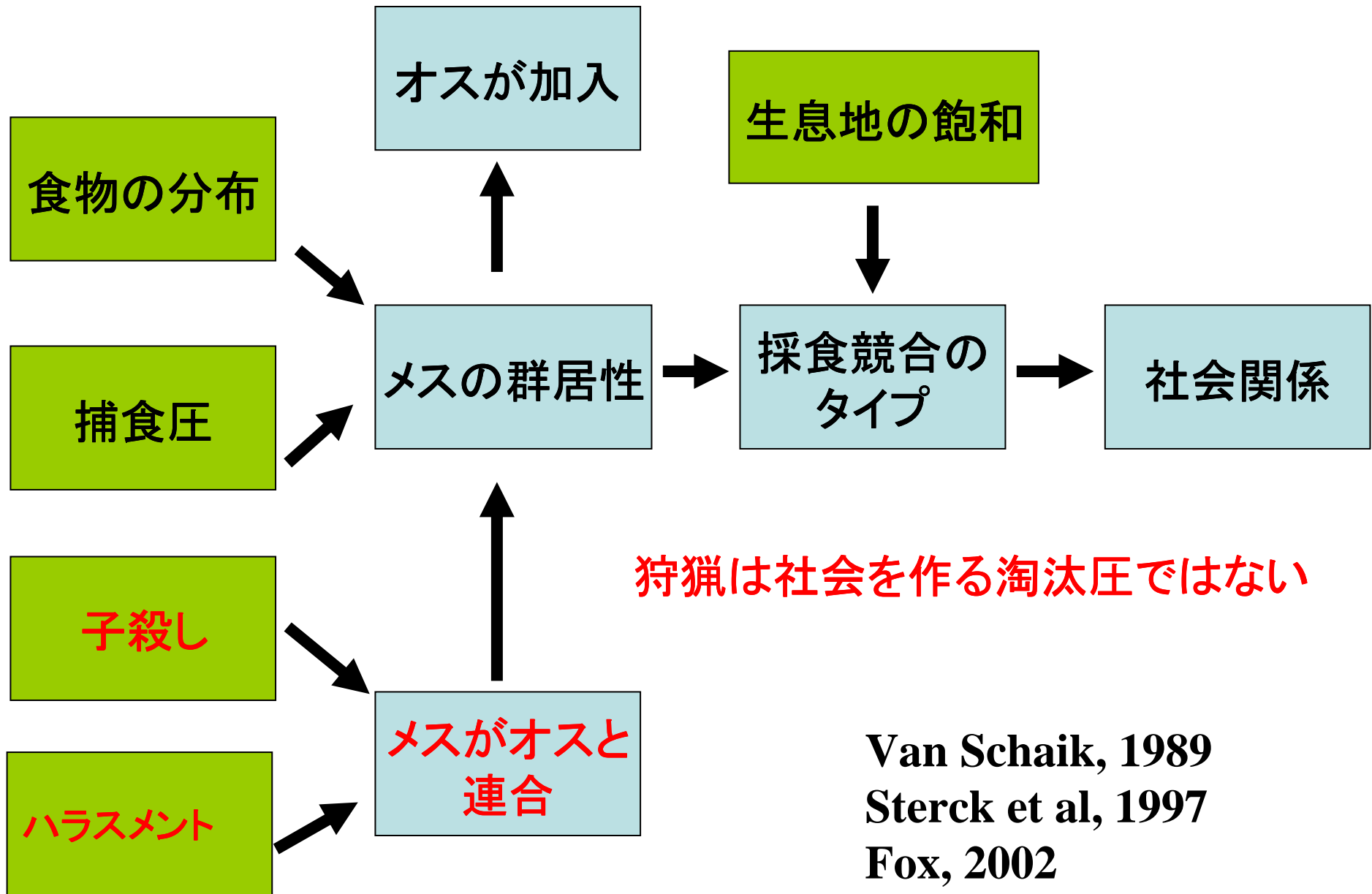
700
万年前

200

100

1

社会生態モデル



**では、人間の家族は
どのような社会から
生まれたのだろうか？**

どのような背景で？

どのような条件で？

何のために？

どこで、なにを、**だれと**、
どうやって、食べるのか？

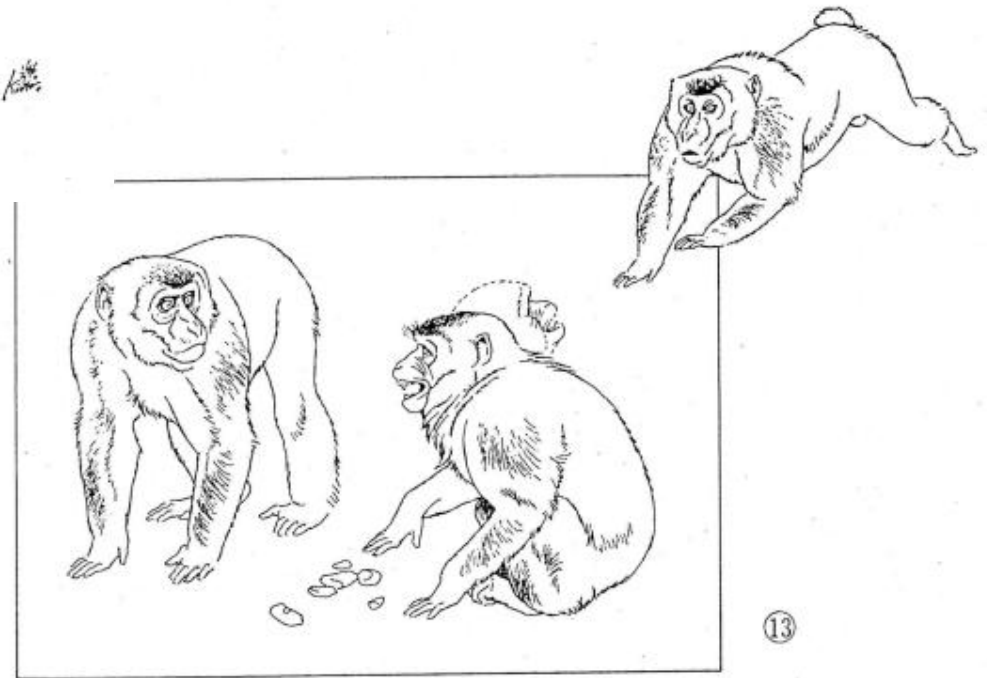


群れで暮らす霊長類は互いの優劣を認知している



3者関係

2者関係



類人猿の食物分配



ボノボ



ゴリラ

共感と同情



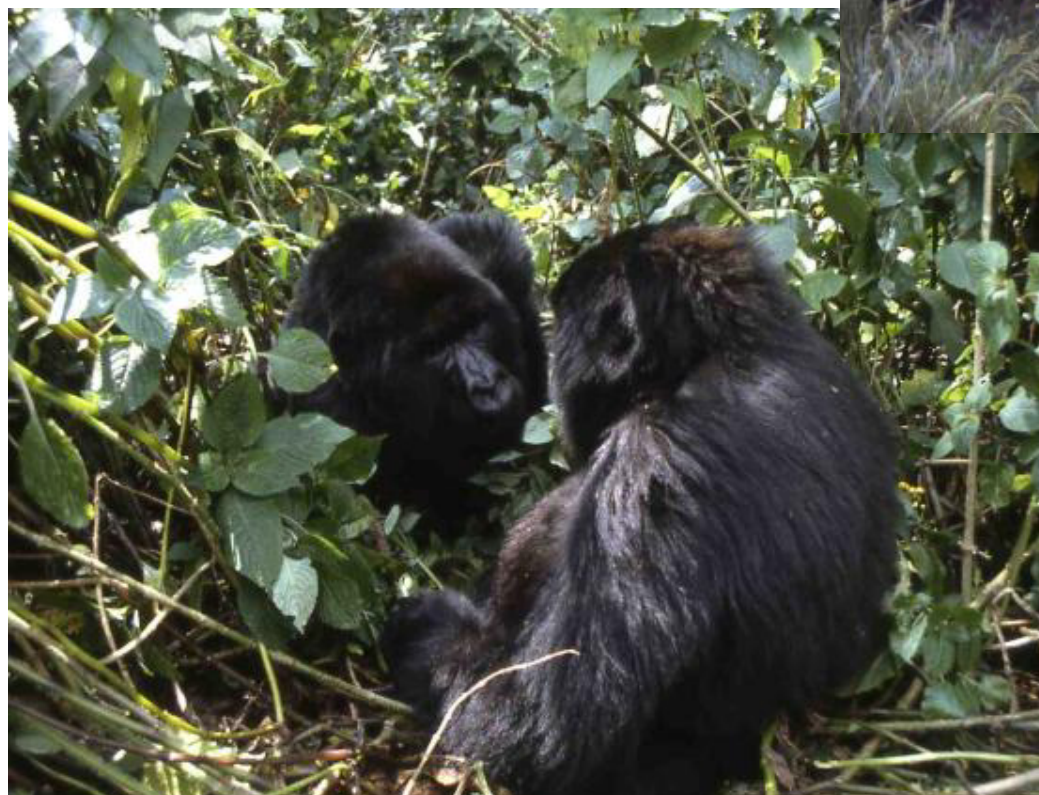
ニホンザル



ゴリラ

共感を育むコミュニケーション

ゴリラに独特な対面交渉



あいさつ

人間も対面する

どんなときに？

共感は 共同保育と 食物の共有 によって生れた

子育てを通じた 食物分配



子育てをするオスたち



多産



遊び

ゴリラの子育て

小さく産んで大きく育つ

3年間お乳を飲む

1年間は赤ん坊を離さない

赤ちゃんは泣かない



子育てのバトンタッチ

お乳以外のものを
食べ始める頃

母親がシルバーバック
に預ける

遊び相手と仲裁者



父親はつくられる？

- ・ 母親から
- ・ 子供自身から
- ・ その結果、インセストは回避される



ウェスターマーク効果

親子愛と恋愛は両立できない

親子は生涯信頼のきずなで結ばれている

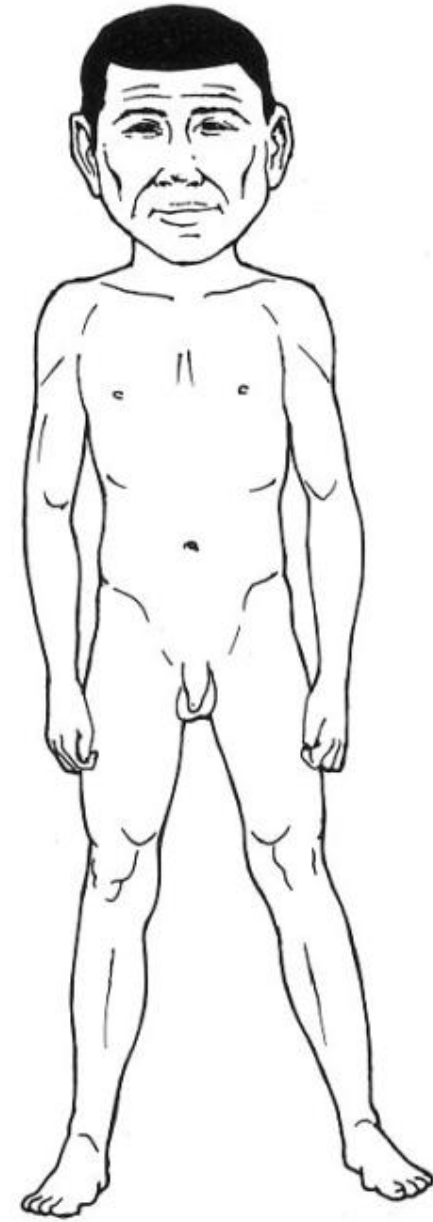
では、

どうやって人間は

ゴリラと分かち持つ

共感能力を高めたのだろうか

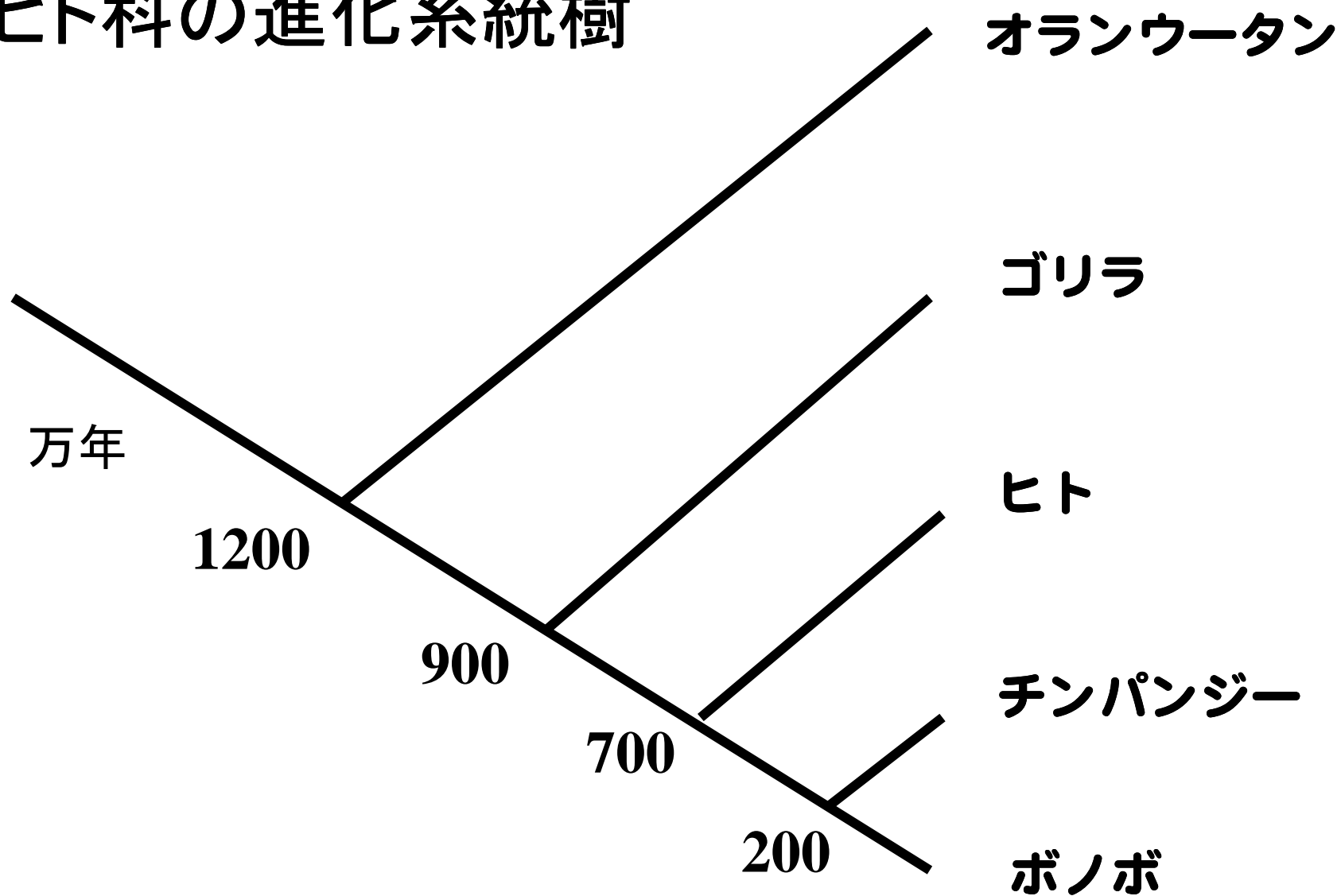
**それは、
長い子ども期を通した
共同の子育てと
共食による分かち合い
から生まれた**



ゴリラから見た人間の子どもの不思議な特徴

- ・ 大きな赤ちゃん
- ・ 赤ちゃんはよく泣く
- ・ 赤ちゃんはよく笑う
- ・ お母さんにつかまれない
- ・ 乳離れが早い
- ・ 成長が遅い
- ・ おしめがなかなか取れない

ヒト科の進化系統樹



0 5 10 15 20 25 30 35 40 45 50 55

乳児

少年

成年

老年



オランウータン



ゴリラ



チンパンジー



子ども期

青年期

ヒト

ヒト上科の生活史

ヒトの生活史の特徴

- ・ **子ども期がある**
- ・ **青年期がある**
- ・ **繁殖能力を喪失しても長期間生存する**

なぜ、人間の赤ちゃんは

まだ乳歯のうちに離乳してしまうのか？

**それは、人間の祖先が熱帯雨林を
出たことに起因する**

人類固有の生活史の秘密は
直立二足歩行と大きな脳にある

直立二足歩行

犬歯の縮小

食物の分散

石器の使用
脳容量の増大

捕食者の脅威

キャンプ地

組織的な狩猟

火の使用

宗教

農業



700万年前

200万年前

100万年前

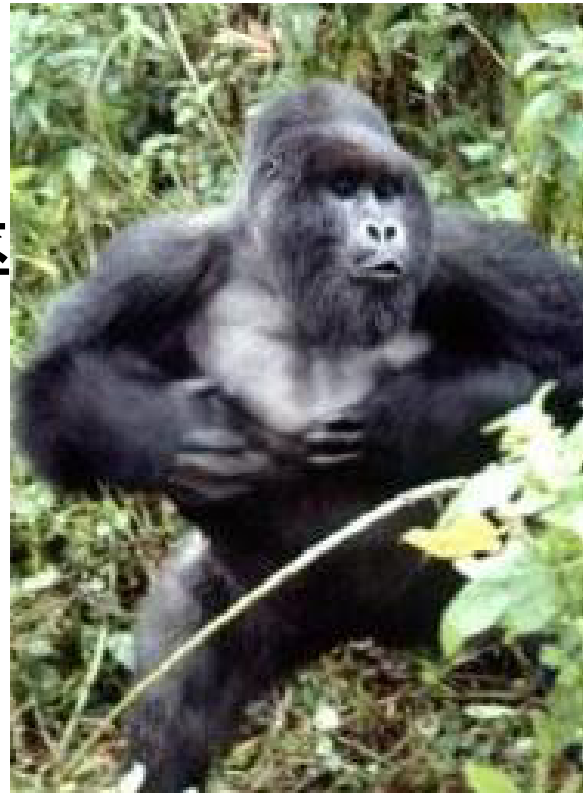
現代

森林の外で対立する2つの課題

- 低密度で分散する食物資源
遊動域の拡大→分散→離合集散性
- 強力な捕食圧と営巣場所の不足
集団サイズが増大、連合体制の強化
幼児死亡率の増加→多産

直立二足歩行の原因仮説

- 道具使用
- 食物採集
- 捕食者の発見効率
- エネルギー効率
- 荷物の運搬
- 食物の供給
- ディスプレイ



初期の人類は

肉食獣に幼児を狙われたため

多産になる必要があった

お乳の産生を促すホルモンは

排卵を抑制するので

子どもを離乳させれば

次の出産の準備ができる

ではなぜ重い赤ちゃんを産むのか？

脂肪率15－25%で類人猿の5倍

新生児の脳は3段階で成長

1年で2倍、

5年でおとなの脳の90%

12～16歳で完成

子どもの成長が遅いのは

- ・ **脳の急速な成長（5歳以下の子どもは40-85%のエネルギーを脳の発育に回す）**
- ・ **脳の成長を優先させて、身体の発育を遅らす**

思春期スパート

- ・ 思春期に成長速度が増加する
- ・ 脳の成長に身体が追いつく
- ・ 女子(10-18歳)
- ・ 男子(12-21歳)
- ・ 繁殖力を身につける時期
- ・ 学習によって社会的能力を身につける期間

早い離乳と遅い成長

- ・ 母親の繁殖力を高める
- ・ 離乳食の必要性
- ・ 子供の長期にわたる保育
- ・ 思春期サポート
- ・ 共同保育の必要性

なぜ人間の赤ちゃんはよく泣き よく笑うのか

- ・ **生まれてすぐに、お母さんがすぐ赤ちゃんを手から放してしまう**
- ・ **赤ちゃんは様々な人に手によって育つ**
- ・ **泣くのは自己主張**
- ・ **笑うのはだれにでも愛されるため**

おばあちゃん仮説

- ・ 危険を伴う出産
- ・ 閉経時期の前倒し
- ・ 子どもの世代の出産を補助し
- ・ 孫の世代の生存価を高める



人類固有の特徴の出現時期

直立二足歩行

犬歯の縮小

石器の使用
脳容量の増大

キャンプ地

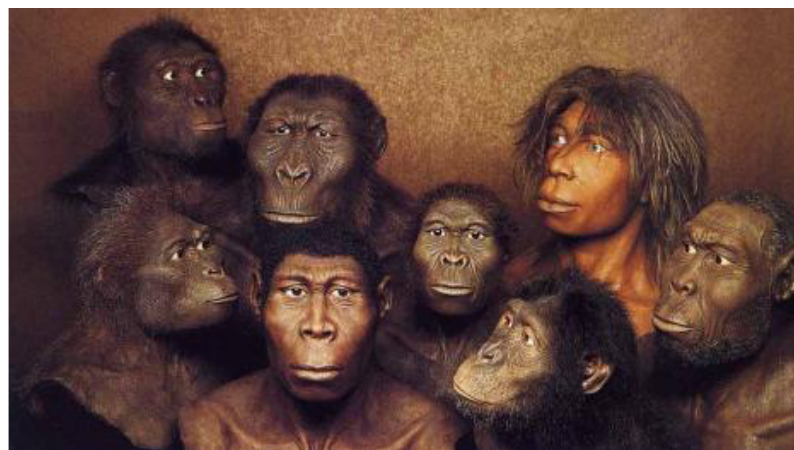
組織的な狩猟

家族の形成

火の使用

宗教

農業



700万年前

200万年前

100万年前

現代

育児が音楽の能力を向上させた

- ・ 乳幼児への発話は学習不要、文化を超えて普遍的
- ・ 子どもは絶対音感の能力をもつ
- ・ ピッチが高く、変化の幅が広く、母音が長めに発音されて、繰り返えしが多い
- ・ **子守唄の普遍性**

共同の歌（感情の表出と共有）

- ・ 音声と動きの同期(踊い)
- ・ 満足感の誘発と怒りの発散
- ・ 高揚感、増大感、感情や信頼の共有
- ・ 境界の喪失(自己意識のあいまい化)
- ・ 社会の同一性
- ・ 神との対話

Mithen (2006)

共感能力の発達によって

- ・ 子どもは憧れをもつ
- ・ 子どもは目標に向かって努力する
- ・ 子どもは他者の中に自分を見る

育児の延長
教育の必要性

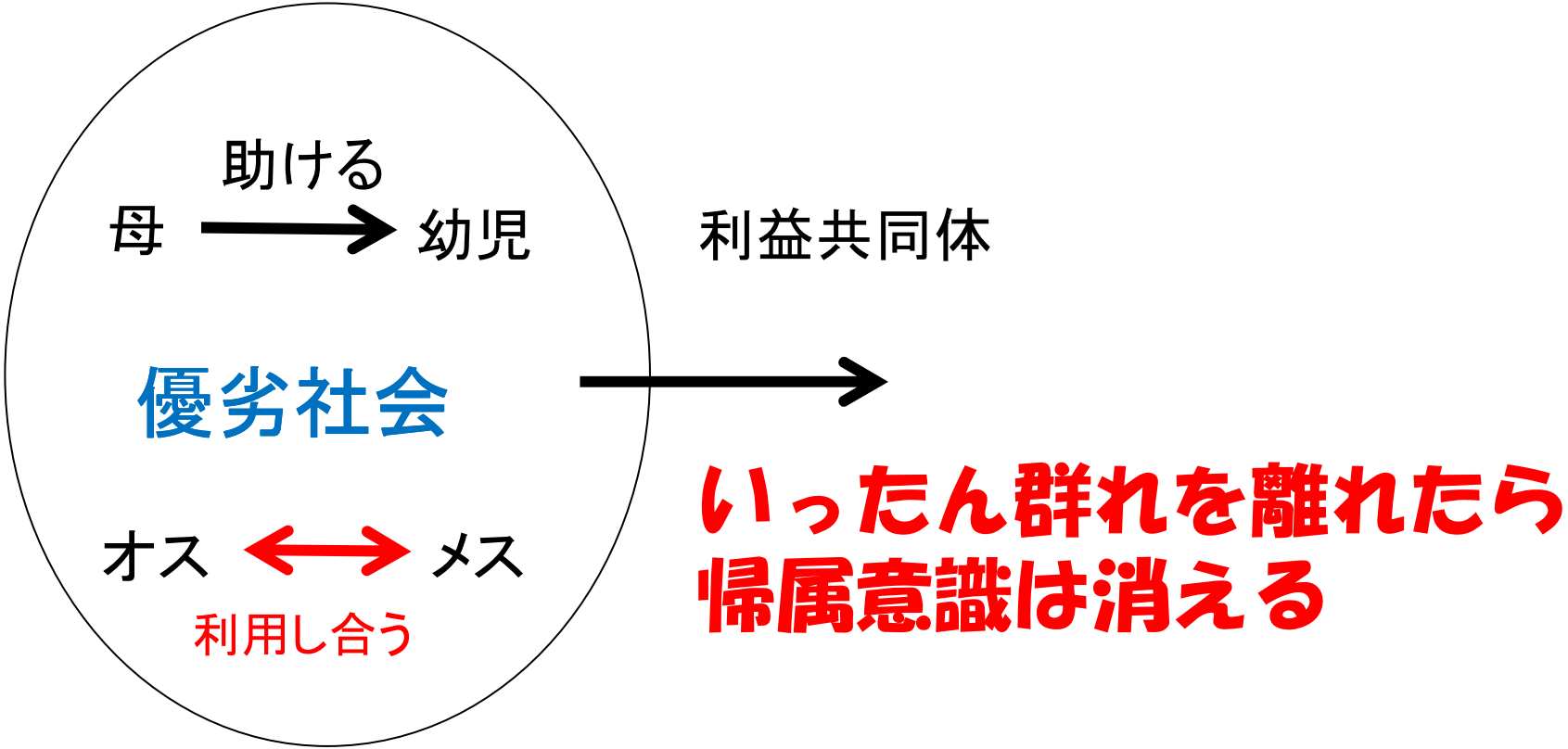
おせっかいな人間

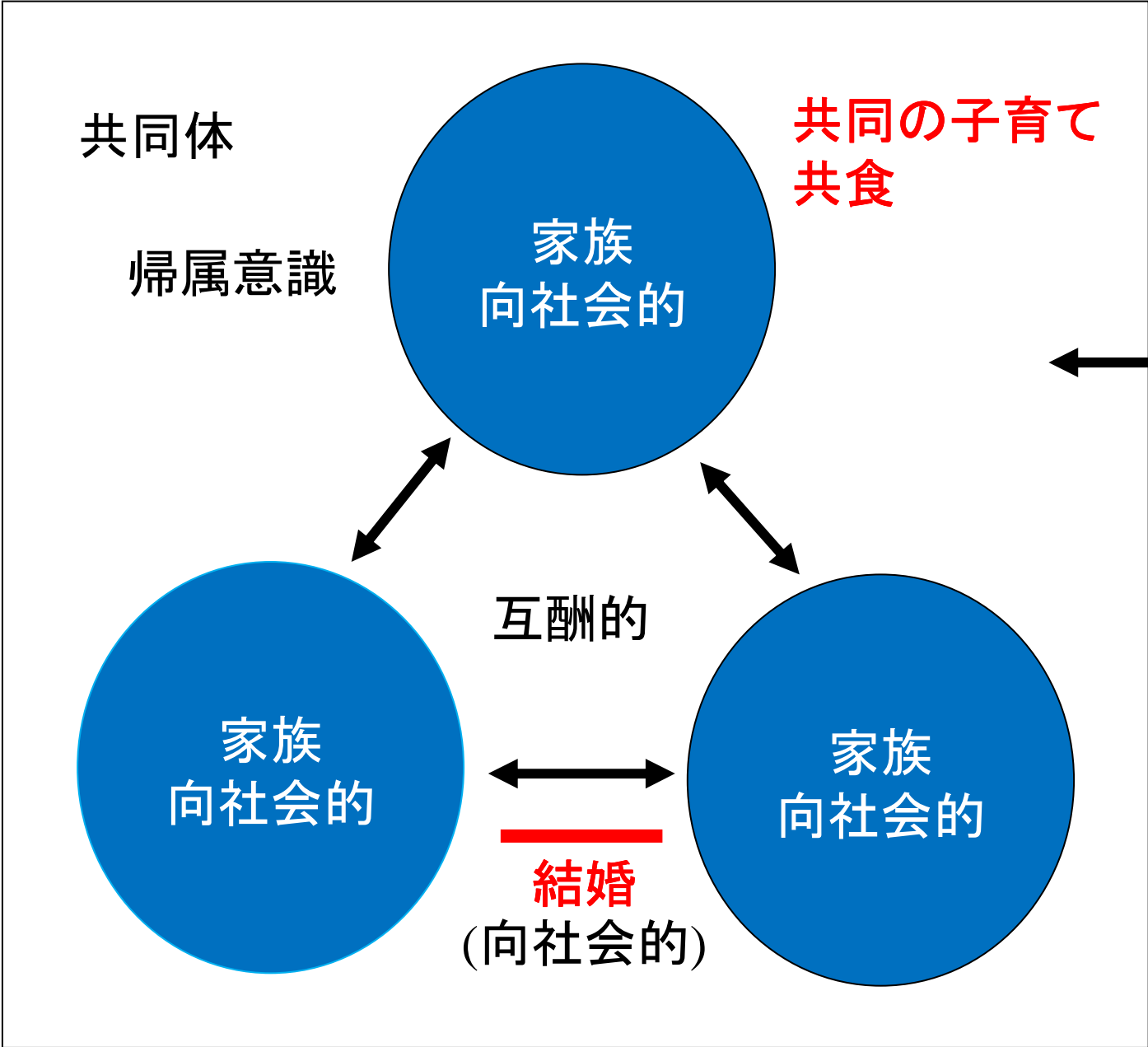
人間のもつ普遍的な社会性

- ・ 向社会性(見返りのない奉仕)
- ・ 互酬性(対等な助け合い)
- ・ 帰属意識

共感という感性に基づく

サルの社会性





家族崩壊の危機

- ・ コミュニケーションの変容
- ・ 個人の評価の拡大
- ・ 家族どうしのつながりが消失
- ・ 共同の子育てが消失
- ・ 共食の機会が減少

インターネットと個食の時代

家族の崩壊は人間性の消失

- ・ **子育ての経済化、機械化**
- ・ **集団原理（互酬性）のみの社会**
- ・ **サルの社会（優劣社会）への回帰**
- ・ **共感能力の減退**
- ・ **信頼関係の消失**
- ・ **利益共同体と閉鎖的な社会**



ご静聴ありがとうございました